

広告事業に関するマーケットサウンディングの結果概要

北九州市では、市有施設の活用策として、公共施設等の施設命名権（以下、ネーミングライツ）を導入しています。今後、更にネーミングライツを拡充するため、民間事業者から広く意見等を求めることを目的に、市との直接の意見交換による調査（サウンディング調査：対話型市場調査）を実施しましたので、その結果を公表いたします。

1 実施概要

【スケジュール】

事前説明会 : 平成29年10月26日（火）

個別対話期間 : 平成29年11月 6日（月）～12月15日（金）

【マーケットサウンディングの参加者】

実施事項	実施スケジュール	事業者数
事前説明会	平成29年10月26日	2事業者
個別対話	平成29年11月30日	1事業者

2 結果概要

個別対話を行った事業者より、以下のような意見がありました。

【提案型ネーミングライツについて】

- ・ 広告代理店としては、具体的な施設名の提示があった方がよい。

【ネーミングライツ全般について】

- ・ 広く認知されている施設のほうが、広告価値がある。
- ・ ネーミングライツの対価というと、高額な契約金額を想像する。市民トイレや公園の清掃のようなサービスの提供は思いつかない。
- ・ 広告代理店が仲介する場合は、手数料として一定割合は必要。

3 今後の予定

民間事業者の皆様からいただいたご意見を参考に、制度導入の可否を検討します。